

時 間 午後2時00分～
会 場 全員協議会室

市長記者会見資料

- 1 災害時における給電車両貸与に関する協定を締結
- 2 出産や子育てに関する相談支援体制の充実に向けて
～オンライン面談・相談支援の実証実験を実施～
- 3 海外友好交流都市ヴリーツェン市に「友好の桜」
～市民団体の皆さんと市長が桜の植樹祭に参加～

災害時における給電車両貸与に関する協定を締結

大規模な地震や風水害などにより、市内で大規模停電等が発生した際に、電気自動車等給電車両を避難所への電力供給手段として活用する目的で、3月31日付で「S&D多摩ホールディングス株式会社・トヨタS&D西東京株式会社」、「トヨタモビリティ東京株式会社」、「日産自動車株式会社・日産東京販売株式会社」と給電車両、電気自動車の貸与に関する協定を締結しました。

これは、太陽光発電設備が設置されない避難所への電力供給手段として大変有効なものであり、各社からの「所有している電気自動車等の電源供給可能車両を用いて、大規模停電時の電力供給に協力したい」との申し出により実現したものです。



協定と協定で貸与される車両、本日の各社の訪問・デモンストレーション

協定名	締結先	貸与車両	本会見後の予定
災害時における給電車両貸与に関する協定	S&D多摩ホールディングス株式会社 代表取締役社長 田村勝彦 トヨタS&D西東京株式会社 代表取締役社長 田村勝彦	ハイブリッド車 プラグインハイブリッド車	15時～ 市長表敬訪問 (市長公室)
災害時における給電車両貸与に関する協定	トヨタモビリティ東京株式会社 代表取締役 佐藤康彦	プラグインハイブリッド車	15時15分～ 市長表敬訪問 (市長公室)
災害時における電気自動車貸与に関する協定	日産自動車株式会社 首都圏リージョナルセールスオフィス 部長 星野敦彦 日産東京販売株式会社 代表取締役社長 竹林彰	電気自動車	15時35分～ 給電デモンストレーション (本庁舎南側 八王子市役所バス停前)

<問い合わせ>

生活安全部防災課長 伊藤 電話042-620-7207

出産や子育てに関する相談支援体制の充実に向けて

～オンライン面談・相談支援の実証実験を実施～

出産や子育てに関する産後の相談支援体制の充実を図るため、東京都の事業でのマッチングにより、民間事業者と実証実験を行います。実証実験の間中は小児科医・産婦人科医・助産師によるオンライン相談サービスなどを無料で提供。また、実証実験利用者アンケートや効果測定を実施し、本市におけるSNSアプリ活用による相談支援の有効性を検証し、今後の支援の検討につなげてまいります。

1 支援対象者

乳幼児を養育する保護者

（3～4か月児健診の際にチラシを配付し、実証実験への登録をご案内します）

2 対象のサービス

■ オンライン相談窓口

メールで24時間、相談や質問を受け付け、医師や助産師から回答するほか、平日の夜間18時から22時まで、メッセージチャットや動画通話を使って、リアルタイムで対応します。

■ 産後うつフォロー

産後1、3、5、11か月の利用者に対してメール送付し、リスクの高い利用者には、手厚いサポートを提供し、産後うつリスクの早期発見と適切な相談・受診につなげます。

■ 医療記事の提供

市民に向けて、インフルエンザワクチンの重要性など、育児期において必要な医療記事を提供することで、適切な理解を促し、不安解消に努めます。

3 実施期間

5月8日から8月31日まで

4 提供事業者

株式会社 Kids Public（千代田区神田小川町1-8-14 神田新宮嶋ビル4階）

5 実施スケジュール

令和5年（2023年）	4月5日	提供事業者との協定締結
	5月	実証実験開始 事業周知（3～4か月児健康診査時）
	8月	実証実験終了
	9月	検証・効果測定

<問い合わせ>

健康医療部大横保健福祉センター館長 大澤 電話042-625-9129

海外友好交流都市ヴリーツェン市に「友好の桜」

～市民団体の皆さんと市長が桜の植樹祭に参加～

第二次世界大戦直後のドイツで伝染病患者の治療に尽力し、自らも感染し37歳の若さで亡くなられ、ドイツ・ヴリーツェン市との友好交流のきっかけとなった本市出身の医師・肥沼信次博士。

生前にヴリーツェンの方たちに「日本の桜を見せたい」と言っていた博士の思いを叶えるため、本市の市民団体「Dr. 肥沼の偉業を後世に伝える会」が桜を植樹するための募金を行い、この募金を基にヴリーツェン市内の“Dr. コエヌマ通り”沿いの広場に桜の苗木が植えられました。

このたびヴリーツェン市のイルム市長から寄付への感謝とともに、植樹を祝う式典へご招待いただいたことから、代表団として市民団体の皆さんと市長が6月にヴリーツェン市を訪問します。

- 1 式典日程 6月3日（土）
- 2 場 所 ドイツ・ヴリーツェン市
- 3 内 容 桜の植樹を祝う式典、銘板プレートの除幕式

※ 20本の桜の苗木は、適した季節に既に植樹されています。



▲「友好の桜」と題した銘板を設置



▲ヴリーツェン市庁舎近くの「肥沼博士通り」

<ヴリーツェン市との交流>

- 平成27年～ 市民団体「Dr. 肥沼の偉業を後世に伝える会」による市民レベルの交流が始まる
- 平成29年7月 本市と海外友好交流協定を締結
- 令和3年10月 ヴリーツェン市に”Dr. コエヌマ通り”誕生
- 令和4年4月～ Dr. 肥沼の偉業を後世に伝える会が「結ぶ 桜のプロジェクト」で募金を行う。目標額（300万円）を超える360万円の募金を集める
- 令和4年7月 肥沼博士の母校である八王子市立第三小学校と、ヴリーツェン市聖ヨハニッター小学校が教育連携協定を締結

<問い合わせ>

市民活動推進部多文化共生推進課長 中野目 電話042-620-7437